

第Ⅳ期中期計画

(2024～2028)



公益財団法人 京都高度技術研究所

目次

1	策定にあたって	P.1
2	計画の体系	P.2
3	経営方針	P.3
4	重点施策（2024～2028）	P.4
5	成果目標等（2024～2028）	P.6

1 策定にあたって

(1) 計画の位置づけ

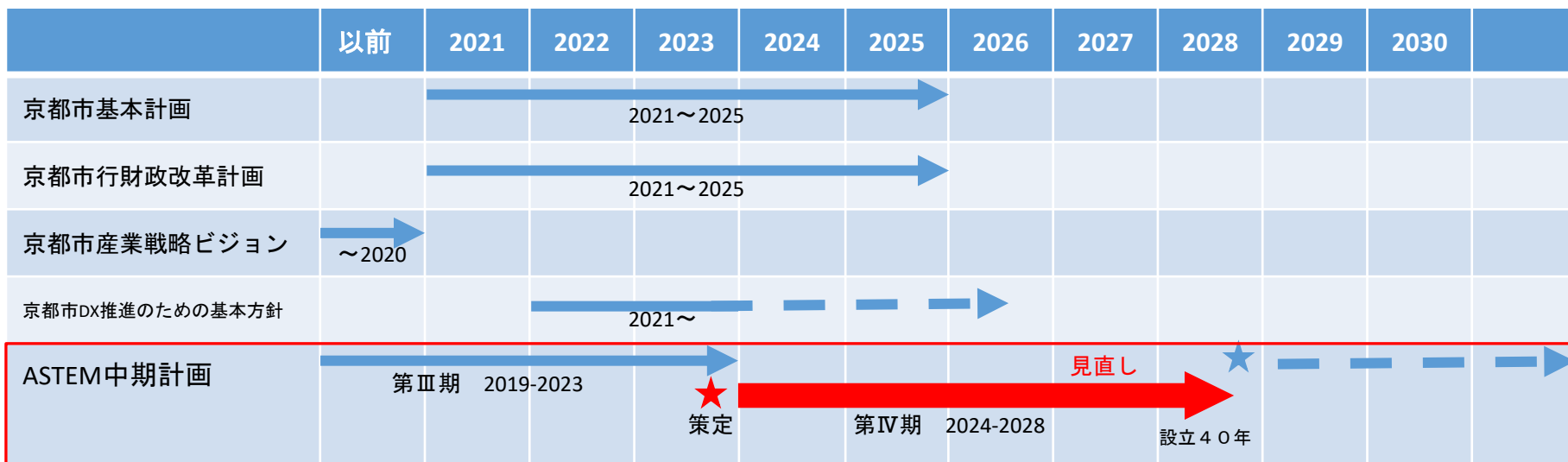
- 次期計画は、10年先（2033年度）の目指す姿を定め、そこに向かうための当初5年の経営方針とします。

(2) 基本的な考え方

- 現行計画をベースとして、これからのASTEMが目指す姿を見据えた計画とします。
- 「はばたけ未来へ！京プラン2025（京都市基本計画）」など、京都市の掲げる政策目標の達成に寄与するとともに、新たな施策の提案や財団独自の自主公益事業も見据えた計画とします。
- 国等の科学技術振興や経済産業振興政策の方向性などを踏まえた計画とします。

(3) 計画の期間

- 2024年度から2028年度までの5年間としますが、地域産業を取り巻く社会経済情勢等の変化や、国や京都市の制度・施策等の変更を踏まえ、3年を目途に検証を行い、必要な見直しを行うこととします。



2 計画の体系

本計画は、科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与するために、将来の変化を見据え、ASTEMの「目指す姿」を定め、そこに向かうための「基本方針」と「重点施策」を示すものです。

「目指す姿」と「基本方針」は、京都市基本計画や京都市DX推進のための基本方針（2022年1月）に掲げる「みんなでめざす2025年の姿」や「推進施策」等を踏まえつつ、ASTEMの果たすべき役割を踏まえて設定しています。

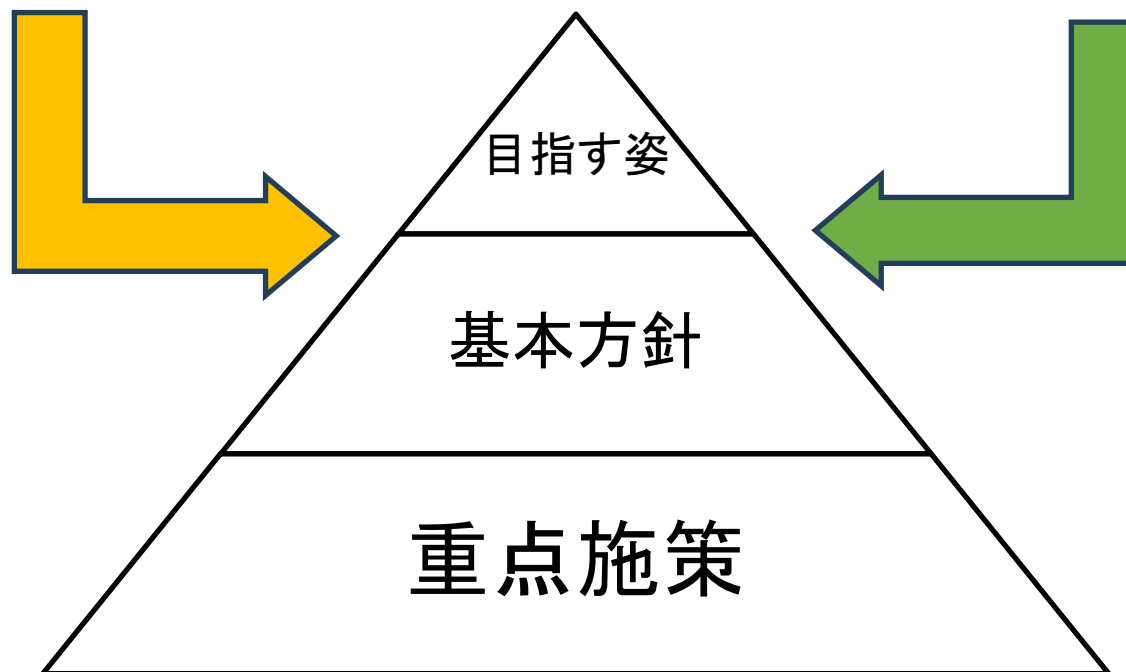
「重点施策」は、これらを踏まえ、現時点で想定した課題の解決に向けて進めるべき具体的な施策を示したものです。

京都市基本計画

- ・二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向けて、**環境と調和した持続可能な社会**を目指す
- ・地域企業の持続的発展と、文化経済の融合、異分野との交流促進で**次世代産業を生み出す産業創造都市**を目指す。

京都市DX推進のための基本方針

地域・社会のDXの目指す姿として、「京都ならではの強みをいかした企業・大学など多様な主体との連携の下、デジタルの力で、社会課題の解決や新たな価値創造を図るなど、**都市の魅力と活力をもたらすデジタル創造都市**」が掲げられている。



3 経営方針

第Ⅳ期中期計画の基本方針 2024～2028

(1)地域企業等のDXの推進

ICT分野の新技术の導入や活用を加速する機関として、デジタルの力で、地域企業や地域・社会の課題解決や新たな価値創造を図る。

(2)脱炭素循環型経済システムの構築

2050年度までの脱炭素や資源経済安全保障の観点から、資源循環分野において、自然との共生を念頭におきつつ、環境と調和した持続可能な社会の実現をめざす。

(3)新しい産業と雇用の創出

スタートアップや第二創業に挑戦する地域企業の製品開発や市場開拓、更にイノベーションを加速し、付加価値の高い産業と雇用の創出を実現する。

ASTEMの目指す姿2033

スタートアップや地域企業が成長し、デジタル技術やイノベーションの進展などによって、仕事と生活が調和した豊かな暮らしを、働く人々が実感している。

また、資源循環システムが構築され、持続可能な社会の実現が着実に進展している。

ASTEMの設立目的

科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与する

4-1 重点施策（2024～2028）

ア 地域企業等のDXの推進に寄与する取組

（ア）地域企業のデジタル化推進支援

① 地域企業のDX	京都市との連携の下、地域企業のデジタル人材を育成するとともに、地域ITベンダーとのマッチングを図るほか、AIやロボットで生産性を高める業務のデジタル化や、データやデジタル技術等を使って顧客目線で新しい価値を創出するDXを促進する。
② デジタルヘルスの推進【新規】	医療や健康領域のICT化に取り組む地域企業のシステム設計や運用を支援するほか、「パーソナルヘルスレコード（PHR）」のデータ流通基盤を構築し、ヘルスケア等の効果を向上させるデジタルヘルスの推進を図る。

（イ）ICT分野の研究開発機能を活かした産業のDX等の基盤整備

① 共同研究や受託開発の推進	地域企業との共同研究や受託開発を通じて、サプライチェーンマネジメント等のDXに関する知見の獲得と普及啓発を推進するほか、他の公的研究機関等との連携の下、研究開発環境のDXを図る。
② 情報サービス基盤の構築【新規】	人工知能（AI）、ビッグデータ解析、PKI（公開鍵基盤）、ブロックチェーンなどのデジタル技術を活用しながら、情報サービス基盤を構築し、産業のDXやデータの利活用の推進等につなげる。

イ 脱炭素循環型経済システムの構築を先導する取組

（ア）プラスチック等資源循環システムの構築

① バイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証【新規】	長期間使用する自動車や建材等で利用が拡大するプラスチックのバイオマス化・資源循環を進め、ライフサイクルでの温室効果ガス削減により、用途に適合した寿命のプラスチックの動静脈が連携する新たな資源循環モデルを構築し、脱炭素化・資源循環を加速化する。
------------------------------------	---

4-2 重点施策（2024～2028）

ウ 新しい産業と雇用の創出に寄与する取組

（ア）スタートアップ及び地域企業の成長支援

①スタートアップの成長支援【新規】	イノベーション創出コミュニティを基軸として、起業家の発掘・育成を行うとともに、コーディネータによる伴走支援を行うほか、大企業とのマッチングの場を提供するなど、成長段階に応じた支援を展開する。さらには、新たな価値や競争力を生み出すため、オープンイノベーションを誘発する交流会などを開催する。
②地域企業の成長支援	専門家等と連携しながら、国等の競争的資金なども活用し、製品開発や海外展開をはじめとする市場開拓を支援するほか、認定企業団体や経済団体等との連携の下、地域企業間のオープンイノベーションを促進し、地域企業の成長を加速する。

（イ）成長分野における産業の振興

①ライフサイエンス産業の振興【新規】	当財団が培ってきた産学公の人的ネットワークや新事業創出のノウハウなどを活かし、国や京都市と連携するとともに、さらには民間活力の導入も視野に入れながら、研究開発支援や起業家育成、医療・ヘルスケア等の臨床ニーズと企業とのマッチング、急成長が見込まれているプログラム医療機器の開発支援に取り組むなど、ライフサイエンス産業を振興する。
②グリーン産業の振興	大学の技術シーズを産業界に橋渡しするとともに、グリーン産業の振興に資する企業を中心に、人材育成やビジネスマッチング等を実施するほか、2025年には大阪・関西万博などの事業との連携も図り、域内で活動するグリーンテック企業を世界に発信するなど、グリーン産業を振興する。

5 成果目標等（2024～2028）

本計画に掲げるASTEMの目指す姿の実現に向けて、出力結果目標（アウトプット）及び出力結果を元にして獲得した成果目標（アウトカム）を設定して、進行管理を行います。

区分	目標項目	目標値 (2028年度末時点)
アウトカム （事業活動の実施によるアウトプットがもたらす「成果ないし効果」）	スタートアップや地域企業に寄り添いながら、ステージや意向に応じた支援を推進することで着実な成長を実現し、こうした企業が産業における社会基盤を支えている。 また、デジタル技術やイノベーションの推進によって、働き方や所得、子育て等の面で働く人々の生活の質が向上している。	
	成長志向の認定企業の売上増加率	25%増（2022年度比）
	成長志向の認定企業の従業員数増加率	15%増（2022年度比）
	ASTEMイノベーション施設を卒業し、京都市内に新たな拠点を設置した企業数	5社（2024-2028年度計）
アウトプット （事業活動を実施することにより生み出される「結果」）	新たにAランク・オスカー認定した企業数	50社（2024-2028年度計）
	新たにASTEMの支援を活用して起業した企業数	25社（2024-2028年度計）
	ASTEMの支援により、企業等が国等の競争的資金を獲得した数	50件（2024-2028年度計）
	ASTEMが国等のプロジェクトの採択を受け、実施した事業数	25件（2024-2028年度計）
	研究開発等の実施件数（共同研究、受託研究、請負開発等）	50件（2024-2028年度計）
	技術コンサルティング（指導）の実施件数	25件（2024-2028年度計）